

三重県入札等監視委員会 審議概要（平成26年度 第1回）

開催日及び場所	平成26年5月30日(金) アスト津 4階 研修室A	
出席委員	委員長 林 拙郎 副委員長 福島 礼子 委員 石黒 覚 委員 岩田 広子 委員 長谷部 拓哉	委員5名中5名出席
審議対象期間	平成26年1月1日から平成26年3月31日	
抽出案件	総件数 5件	(備考)
一般競争入札	2件	
指名競争入札	2件	
随意契約	1件	
委員からの意見・質問、それらに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	特になし	

入札等監視委員会 平成26年度 第1回定例会 (平成26年5月30日 14:00~16:00)

意見・質問

回答

入札・契約事案の審議について

工事名 主要地方道一志美杉線(矢頭峠バイパス)道路改良(矢頭トンネル照明設備)工事〔津建設事務所〕

・電気工事は低い金額での入札が多いのか。
・低入札で契約した案件は、粗雑工事が多かったということはあるのか。
・下請けを予定していないが、電気工事の場合はすべて自社施工が多いのか。

・比較的多い状況にある。電気工事は材料が多く、材料の単価の変動が影響しているようである。
・ない。低入札で契約した場合は、通常配置すべき技術者に加えて担当技術者を配置する制度になっており、工事現場をより厳密に管理させている。
・配管工事は下請けをつける場合がある。今回は、その部分も自社で施工する予定である。

工事名 その他水系神島南水系神島南砂防工事〔志摩建設事務所〕

・離島の工事であるため、資材を船で運搬するが、予定価格に海上運搬コストは見込まれているのか。
・入札参加者が少なかった理由はなにか。

・見込まれている。
・離島での工事であることなど現場条件が厳しかったことから、入札参加を見合わせたと思われる。

工事名 紀宝中部地区県営中山間事業(一般)営農飲雑用水附带施設設計業務委託〔熊野農林事務所〕

・指名競争入札の総合評価方式の場合は、基準価格を相当下回っても価格点を100点とするだけで、失格にはならないということか。
・7者の選定にあたってどのようなことを考慮したのか。

・現在の制度としてはそうなっている。
・資格を有している技術者の数などを考慮して選定している。

工事名 二級河川午ヶ谷川左岸平成25年河川災害復旧(国災第107号)工事〔桑名建設事務所〕

・最初に実施した一般競争入札が不調になった理由はなにか。
・2回目を一般競争入札で行わなかった理由はなにか。

・桑名建設事務所が土木一式工事Cランクを対象に発注した工事がこの時期に集中したことから、他の工事の受注等もあってこの工事の入札参加は見合わせたと思われる。
・災害復旧工事で早期に発注する必要があり、指名によれば確実に入札に参加してもらえという判断をもって指名競争入札で行った。

工事名 松阪第2分水水位計移設他工事〔南勢水道事務所〕

・随意契約の場合、予定価格は事前公表なのか。
・落札率が低かった理由はなにか。

・随意契約の場合は、予定価格は事前には公表しない。
・松阪市の工事と同時に施工ができることにより、別々の工事であれば2回行う作業を1回で仕上げる事ができるなど、その辺りの手間分で安くなったのではないかとと思われる。

その他

・次回、平成26年度第2回入札等監視委員会の開催日は、平成26年8月25日(月)の予定とする。